

事後評価結果（令和2年度）

担当課：河川整備課

担当課長名：川口 陽一郎

事業名	総合流域防災事業		河川名	まえがわ前川	事業主体	徳島県												
区間	上流：徳島県板野郡藍住町奥野地先 下流：徳島県板野郡藍住町徳命地先		改修延長	L=1,250m														
事業概要																		
<p>前川は吉野川河口から約11km地点で本川に合流する内水河川であり、流域面積約2.6km²、流路延長約1.5kmの一級河川である。流域は全体は平地となっており、平地の土地利用は約45%が市街地約55%が水田耕作地となっている。</p> <p>前川では昭和51年台風17号において著しい浸水被害が発生し、昭和52年度より河川局部改良事業に着手し、昭和56年度より小規模河川改修事業として改修延長1,250mの河川改修を実施し、平成29年度に完成した。また、H4年には直轄事業により吉野川の合流部に排水機場が整備された。</p> <p>【事業計画】 改修計画延長：1,250m、年超過確率：1/10 計画日雨量：222mm、計画高水流量：20m³/s</p>																		
事業の目的・必要性																		
<p>前川では、豪雨等に起因する流域内の浸水により、家屋や農作物、及び交通途絶など多岐にわたる被害が発生し、流域住民が経済的・精神的負担を受けてきたことから、河川改修により浸水被害を軽減し、民生の安定と産業の活性化を図る。</p>																		
事業概要図																		
																		
社会経済情勢等の変化																		
<p>・事業着手時から人口、世帯数は増加傾向にあり、大型ショッピングモールが出来るなど地域の発展が見られる。</p>																		
事業効果	事業効果																	
	①事業の効果		<table border="1"> <tr> <td>異常気象</td> <td>着手前</td> <td>平成29年台風22号</td> </tr> <tr> <td>24時間雨量</td> <td>222</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>床上浸水戸数</td> <td>29</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>床下浸水戸数</td> <td>355</td> <td>0</td> </tr> </table>				異常気象	着手前	平成29年台風22号	24時間雨量	222	205	床上浸水戸数	29	0	床下浸水戸数	355	0
	異常気象	着手前	平成29年台風22号															
	24時間雨量	222	205															
床上浸水戸数	29	0																
床下浸水戸数	355	0																
②事業実施による環境の変化																		
③その他の事業効果		<p>・人口・世帯数の増加 事業による地域の安全度が向上 ・水害による被害の軽減 社会福祉施設の浸水軽減 医療施設や藍住町西交番の機能確保</p>																
事業期間	事業化年度	S56年度	用地着手	S56年度	工事着手	S56年度												
	完了年	H29年度				B/C (H25時点)	2.4											
事業費	H25評価時	26.0 億円	実績	26.8 億円	前回比			1.03										
課題と今後の事業への反映	<p>【用地協力体制の事前構築による事業期間の短縮】 同種事業の実施にあたっては、地元自治体との協力関係の構築や地元説明会の開催といった、用地交渉についての協力体制を整えてから事業を進めるなど、より一層の、事業期間の短縮による早期事業効果の発現に努める。</p>																	